



河川の維持工事で、3ヶ年の複数年契約を実施 ～年度末の突発的な事態にも対応～

下館河川事務所は、堤防除草などを含む河川の維持工事、2工事において、平成21年度からはじめて実施
これにより切れ目のない河川管理が可能となります

詳細はHPに記者発表資料を掲載しております
下館河川事務所 HP<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>

突発事故にも迅速対応



例えば
堤防に悪影響を与えるカラシナは3月中旬～4月中旬が最繁茂期です。丁度この時期に駆除ができるようになります。

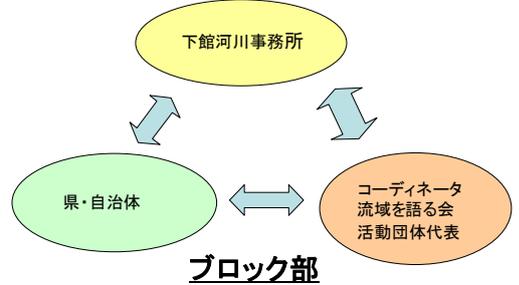
カラシナは堤防に悪いの？
春にはきれいな花を咲かせるカラシナですが大きく育つと根は堤防内に深く入り込み、その後枯れた根により堤防内に空洞を作ります。
又根を食べるモグラが来るため堤防の表面がゆるみます。

流域25市町などからなる 「鬼怒川・小貝川サミット会議・幹事会」開催

2月12日（木）に平成20年度「鬼怒川・小貝川サミット会議・幹事会」を開催しました。
平成21年度から鬼怒川小貝川流域をブロック分け、各ブロック毎に「ブロック部会」（国、県、自治体、河川コーディネーター、活動団体等）を開催し、そのなかで、各ブロックでの川を活かした計画づくりや、地域イベントでの交流等について、より活発な意見交換を行うこととなりました。



鬼怒川・小貝川サミット会議幹事会



伐採木利活用による椎茸・ヒラタケ原木を小学校に提供

2月16日、**取手市市立永山小学校美化委員会**へ椎茸・ヒラタケの原木を提供・管理課長・藤代出張所長が小学校へ出向きました。

パネルを使い下館河川事務所の仕事及びこの原木が伐採され今日皆さんの元に運ばれるまでの流れや、役割を絵パネルを使い分かりやすく説明。みんな真剣に聞き入っていました



子ども達の手で菌が打ち込まれ椎茸やヒラタケを育てます。



代表児童より「大切に育てます」とのお礼の言葉をいただきました。

